



## こども資料室のご案内

こども資料室は赤ちゃんからお年寄りまで誰でもが入れる部屋です。誰もが楽しい本とである所です。この部屋は大きく分けて4つのゾーンに分かれています。絵本ゾーン、読み物ゾーン、知識の本のゾーン、大人のための研究資料ゾーンです。小さなこどもたちは木馬や汽車型絵本架で遊んだりしながら好みの絵本を探すことができます。読み物は低学年と高学年に分けて、それぞれにたくさんの本を表紙をみて並べてあるので、大きい子も小さい子も自分にあった本が探せます。こども資料室には約2万冊の本を開架していますが、カウンターバックの書庫には約5万冊の本があります。

面白い本を探したい時、読みたい本が見つからなかった時、調べ物をしたいけれどもどの本を探したらいいのか分からない時、こどもにどんな本を薦めたらよいのか分からないお父さんやお母さん、どうぞ何でも、お気軽に職員にお尋ね下さい。



### 外国語の絵本がたくさんあります

大阪府立中央図書館には外国語の絵本が8000冊あります。イギリス・アメリカの絵本が中心ですが、フランス・ドイツ・スウェーデン・ロシア・スペイン・ポルトガル・ブラジル・韓国・中国・ベトナム・アラビア等約40カ国の外国の絵本があります。これらの絵本を比べてみると、それぞれのお国柄や文化性がよく表れていて、なかなか興味深いものがあります。中に

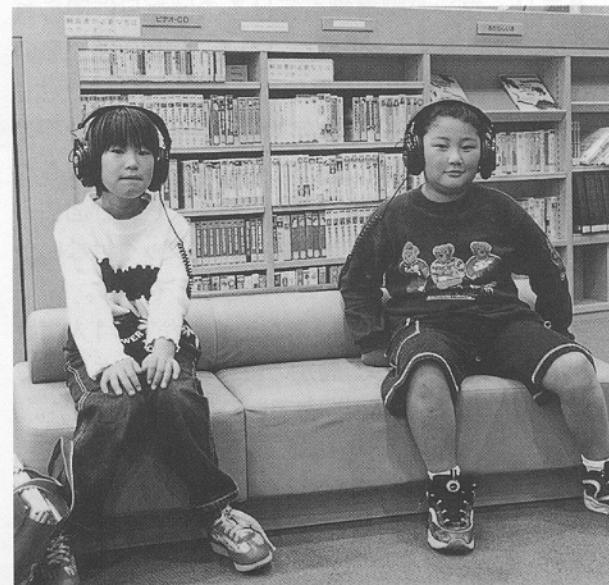
は凝ったしきけのポップアップやメリーゴーランド型等のメカニカルブックも少なくありません。

美しく楽しい「しきけ絵本」は個人の方にお貸しすることはできませんが、できるだけ展示して見ていただくようにしています。



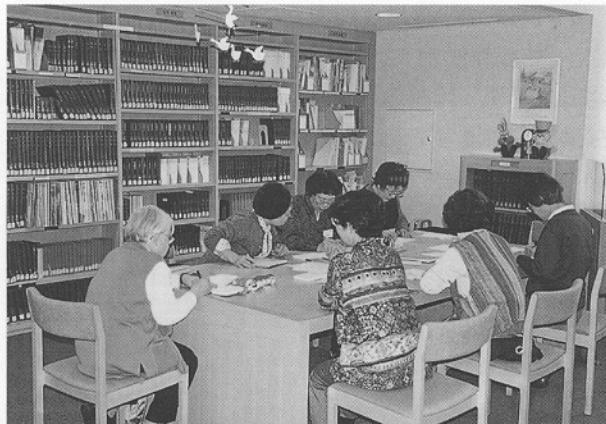
### ビデオやCDもあります

こども資料室にはこども用のビデオとCDが置いてあります。CDはこども資料室で聴くことができます。ビデオの個人鑑賞は、2階のAV（オーディオビジュアル）室でしていただくことになっていますが、学校などの集団利用の場合はおはなしの部屋でも鑑賞していただけるようになっています。



## 研究資料コーナー

子どもの本について勉強したり、研究したりする人のために研究資料コーナーを設けています。子どもや児童書に関する雑誌のバックナンバーや日本児童文学事典や Something About the Authors 等、国内外の参考図書を用意しています。子ども論、児童奉仕論、絵本論、児童文学論、民話、わらべ歌に関する研究書を用意しています。学生や文庫のお母さん方、保母さんや、先生、図書館員や子どもの本の研究者など、子どもと子どもの本に関わっている大人のために用意されたコーナーです。



## おはなし会

毎週土曜日の2時から、おはなしの部屋でおはなし会をしています。

東大阪の子ども文庫連絡会とわんぱく文庫のおかあさん方のご協力をいただいています。絵本の読み語り、手遊び、紙芝居、ペーパーサート、ストーリーテリングなど楽しいプログラムがいっぱいです。12月からは、毎週日曜日2時から清朗会というボランティアグループによる絵本の読み語りも始まりました。小さな子どもたちから大人の人まで楽しんでいただけます。毎回半時間程度で終わりますので、時間に遅れないようにお越し下さい。



## 春・夏・冬休みにはおたのしみ会

春・夏・冬休みには図書館会議室で工作教室や人形劇等のおたのしみ会を催します。今年の夏はスライムづくり、牛乳パックの工作、ストーリーテリングの会、人形劇等をしました。影絵やパネルシアター、科学遊びなど毎回趣向を凝らして、楽しんでもらえるように頑張っています。

みなさん、たくさん来て下さいね。



## わんぱく文庫

目の見えない子どもたちのために点字の本とテープ図書を置いています。

わんぱく文庫はボランティアのおかあさん方が視覚障害児のために開いていた民間の文庫です。10年ぐらい前から別の所で開いていましたが、中央図書館がオープンしてからは、図書館が協力することになりました。わんぱく文庫は毎月第2・4土曜日の2時から4時まで開いています。わんぱく文庫の子どもたちが本を借りにやってきて見える子たちと一緒におはなし会を楽しんだりします。時には見えない子が、見える子に本を読んであげたりもします。

